



2月のイベントカレンダー

日(曜日)	内容(掲載面)
1日(木)	大阪急性期・総合医療センター 令和5年度第2回 府民公開講座 4月30日(火)まで 7面
2日(金)	法律相談 3面
3日(土)	
4日(日)	
5日(月)	
6日(火)	
7日(水)	地域結核健診(長橋集会所) 3面
8日(木)	
9日(金)	乳がん検診、骨量検査、歯科相談 1月号
10日(土)	大腸がん検診、肺がん検診、 特定健診 1月号 ＜伝承あそび＞和太鼓の鼓動を身体で 感じ楽しもう! 4面
11日(日・祝)	元気です! 西成! 2024 1月号
12日(月・休)	
13日(火)	ひったくり防止カバー 無料取付キャンペーン 1月号
14日(水)	在宅医療と介護連携推進を考える 講演会 1面
15日(木)	
16日(金)	不動産相談 3面
17日(土)	新今宮エリア魅力探検ツアー 【第2弾】 12月号 知る・つながる・助かる防災 4面
18日(日)	よさこいフェスタ2024 2面 男子への性教育を学ぼう 8面
19日(月)	
20日(火)	法律相談 3面 大腸がん検診、肺がん検診、乳がん検診 骨量検査、特定健診 3面
21日(水)	
22日(木)	弁護士による「離婚・養育費」に関する 専門相談 3面
23日(金・祝)	
24日(土)	ほっと! ネット西成ひろば 2面
25日(日)	日曜開庁 1面
26日(月)	
27日(火)	フードドライブ 2面
28日(水)	
29日(木)	

2月にしなりのジャガピーパーク

出張開催

- もと今宮小学校
- もと松之宮小学校
- ▲旭北公園

詳細は、にしなり
ジャガピーパークの
ホームページなどお知らせします。

問合せ

保健福祉課(子育て支援)
5階52番窓口
☎06-6659-9824



日	月	火	水	木	金	土
						10
4						24
18						
25						

区長の部屋 成南中学校の生徒さんが取材に来てくれました

昨年の11月17日(金)、成南中学校の生徒さんが職場体験に来てくれました。広報担当のお仕事として取材することを体験。私、西成区長にインタビューをしていただきましたのでご紹介いたします。

Q 区長になって良かったことは何ですか?
 A 区政を通じていろいろな方に出会えますし、西成区のまちづくりに関わることができるので、区長になって良かったと感じています。

Q 西成区をどのようなまちにしたいか、これからの目標などはありますか?
 A 若い人の夢があふれ、日本で一番若者が生き生きしている区にすることが目標です。

インタビューを終えて(感想)



木嶋さん

インタビューという経験は初めてでとても緊張しましたが、区長はとても気さくな方で、西成区を変えていこうという心意気を強く感じ、とてもすごいことだと思いました。



森内さん

とても緊張していましたが、区長はとても話しやすい方で、西成区を変えるという意気込みが伝わりました。西成区が変わるのを待っています!!



今回のテーマは「多文化共生」です。

人権コラム

多文化共生への第1歩 ～外国の方とのコミュニケーション～

公益財団法人大阪国際交流センター国際交流課長代理 鄭 淑仁

日本に住んでいる外国人数は、令和5年6月末には322万3,858人(前年末比14万8,645人、4.8%増加)と、過去最高を更新しています。大阪市も過去最高を更新し、令和5年9月末現在、16万4,518人が暮らしており、市全人口の5.9%を占め、17人に1人が外国人です。

地域に暮らす外国人の中には、生活習慣や文化の違いから、さまざまな不安を抱えて生活している人がいます。また、地域の日本人と交流したいと思っている人も多くいます。特に、日本の習慣、地域のルールを知らないために、ごみ出しのマナーや家・部屋からの物音や騒音のことで日本人住民とトラブルになることもよくあります。

一方、日本人住民の中には、「英語ができないから声をかけることができない」という人もいますが、「外国人」だからといって、みんな英語ができるわけではありません。時には英語で話しかけられるのを嫌がる人もいます。また大阪には、アジアの国や地域からの外国人が多く住んでいます。日本人、外国人がともに交流できれば、お互いがより暮らしやすい地域になるでしょう。そのための1つの方法として「やさしい日本語」でコミュニケーションをとってみるのはいかがでしょうか。

●やさしい日本語

「やさしい日本語」は、難しい言葉を外国人にもわかるように言い換えた日本語のことです。例えば、「ご記入ください」を「書いてください」、「ごみ収集日」を「ごみをすてる日」にするなどです。「やさしい日本語」で伝えるときは、できるだけ相手を思いやり、「わかりやすく伝えよう」という優しい気持ちで使ってみましょう。とはいえ、あまり考えすぎると難しくなりますので、次の基本ルールをもとにチャレンジしてみてください。

やさしい日本語の基本ルール

- 一文を短くする ●カタカナ・外来語はなるべく使わない
- 時間や年月日は、外国人にも伝わる表現にする ●あいまいな表現、二重否定の表現は避ける
- 書くときは、すべての漢字にふりがなをつけ、ローマ字は使わない ●方言は使わず、できるだけ標準語で話す

やさしい日本語を使って外国人とコミュニケーションを取るために、まずは、あいさつから始めてみましょう。すぐに返事が返ってこなくても、大切なのはあなたのことを気にかけているという「思い」です。そうすることで相手も心を開き、いつかあいさつをしてくれるようになるでしょう。

当財団では、大阪市からの委託で、「多文化共生お助けガイド『何でも聞いてや!』」を作成しました。これは日本人住民のみならず外国人とのコミュニケーションをとるためのヒントとなるものです。このガイドブックを活用して、お互いが顔の見える存在として認め合い、支え合える地域社会となるよう、日本人住民と外国人住民が地域でつながることを目的に、令和3年度より大阪市社会福祉協議会との共催で、「多文化交流会」を開催しています。

気軽にいろんな話をする中で、それぞれの文化や住んでいる地域のルールを理解し、お互いが身近な存在となるきっかけとなれば、より暮らしやすい地域となるはずですよ。

私たち(公財)大阪国際交流センターは誰もが暮らしやすい多文化共生社会をめざしてこれからも活動してまいります。

(公財)大阪国際交流センター

☎06-6773-8989 E-mail:center@ih-osaka.or.jp(「多文化交流会」担当)

※「多文化共生お助けガイド『何でも聞いてや!』」は大阪市ホームページでご覧いただけます。



ジャガピー杯ポッチャ大会を開催しました

皆さん、ポッチャという競技をご存知でしょうか。東京2020パラリンピックで日本が個人で金メダル、ペアで銀メダル、団体で銅メダルをとった競技です。このポッチャが西成区内のあちこちで広まり、百歳体操後にポッチャをしたり、イベントでポッチャを取り入れたりと盛り上がってきています。

令和5年12月5日(火)に開催されたジャガピー杯ポッチャ大会では、11月に開催された西成ポッチャカップの優勝・準優勝のチームを含めた16チームで交流戦が行われました。

各チームとも大健闘で白熱した試合が繰り広げられましたが、その中で梅南チームが見事優勝され、準優勝は弘治チーム、3位が今宮チームとなりました。惜しくも入賞とならなかったチームも「他のチームの試合を見て参考になった」「こんな試合をまたやってほしい」と今後の試合や活動に意気込んでおられました。

今回の大会を通じて、各地域でポッチャのような楽しいと思える活動が広がり、皆さんの心身の健康に役立つだけでなく、地域でのつながりや支え合いにもつながってほしいと考えています。

問合せ 西成区社会福祉協議会 西成区合同庁舎8階 ☎06-6656-0080

